

# 代表質問

市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派(所属議員数3人以上の会派)の代表による代表質問を行います。6月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一般質問を取りやめ、その代わりに、代表質問を通常の6月定例会よりも長い質問時間で行いました。ここでは、代表質問のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。  
 ※6月定例会の代表質問は6月8日に通告を締切り、6月12日から4日間の日程で行いました。

## 緑風会 第2

松井 努  
 松永 鉄兵  
(補足質問者)

石原みさ子  
(総括質問者)



### 審議会へのオンライン会議導入

**問** コロナ禍によりテレワークが推奨され、ICTを活用したオンライン会議の機会も増えている。平成30年9月定例会において、市

はオンライン会議の導入に前向きな答弁をしていたが、市主催の審議会等では、いまだに導入されていない状況である。今後、感染症の第2波・第3波が懸念される中、オンライン会議の導入は非常に有効と考えるが、改めて市の認識を問う。

**答** 「新しい生活様式」が求められていることや、感染症の第2波・第3波の可能性を考えると、オンライン会議は審議会等を開催する上で有効な手法の一つと考えている。今後、オンライン会議の開催に必要なセキュリティ面、設備面、運用面等の整備を進めると共に、試行によりオンライン審議会等を開催し、課題等を整理した上で、令和3年度の導入を目途に調整していきたいと考えている。

### G I G A スクール構想

**問** 「G I G A スクール構想」は、児童生徒に対し1人1台のタブレット端末等と高速大容量の通信環境を整備することで個別最適化された学びを実現するものである。国もコロナ禍において、学びの保障のため、教育のICT化の推進を強く訴えており、本構想の早期実現が求められている。環境整備には多くの時間と費用を要することは理解するが、「できることからやる」という姿勢で、早急に整備を進めるべきと考える。今後の整備計画を問う。

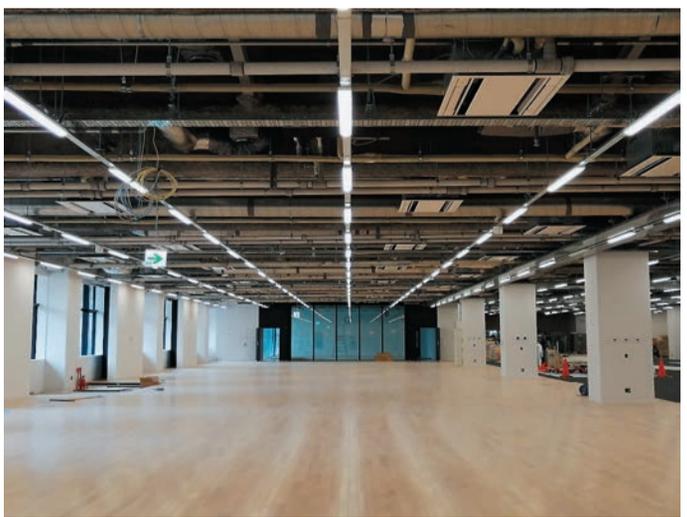
**答** 今後の整備計画については、緊急経済対策として調達した6千台の端末を令和2年7月中旬以降に学校へ配付すると共に、それ以外の端末の調達を進め、設定作業や周辺機器の調達等を年内に行いたい。その後に配付済み端末6千台の再設定作業を行い、3年度にはICT機器を活用した学習を進めていく予定である。

### これからの市役所のあり方

**問** コロナ禍において、リモートワークや交代勤務等、市民が新しい働き方を始める中、これからの市役所には、従来の事業者中心の支援から個人々の新しい働き

ばならないと考えている。方への支援へと重点を移していくことが求められている。新第一庁舎が開庁する今こそ、交流スペース等、新庁舎の特性を生かした支援策を積極的に打ち出すべきと考えるが、市の見解を問う。

**答** 市民の新しい働き方を支えるため、まずは専門的な知識を持つ人に相談できる場を作ることが重要であるため、新第一庁舎において、商工会議所等と連携して働き方に関するイベントの実施等を検討していく。また、新庁舎に新しい知恵やビジネスチャンスが集まるような仕組みを作り、それを膨らませていくことが、今後の市の発展のため重要な要素と捉えており、1・2階をその舞台にしなければ



建設中の第1庁舎1階フロア(令和2年6月現在)

## 日本共産党

清水みな子  
(総括質問者)

金子 貞作  
(補足質問者)

高坂 進

やなぎ美智子  
(補足質問者)

廣田 徳子



### 生活保護受給者への給付金

**問** 特別定額給付金10万円の給付に関して、生活保護受給者から、「私たちがもらえるのか」「もらった後返金する必要はないのか」などといった心配の声が出ている。国によると、この給付金は生活保護法における収入認定の対象とはならず、生活保護受給者も受け取ることが出来る」と説明している。そこで、市として生活保護受給者への周知はどのようになされているか。

**答** 特別定額給付金については、令和2年5月1日付けの厚生労働省社会・援護局保護課長通知において、収入認定をしない取り扱いをするよう示されており、10万円の給付によりその分だけ生活保護費が減額されることはない。そこで、市として引き続き、生活保護

受給者に対し、申請方法等の丁寧な説明を行うと共に、申請漏れが発生することのないよう努めていきたい。

**問** 資格証明書の交付は、収納対策の一つであり、国民健康保険事業が将来にわたって持続可能とするためのものであることから、今後、横浜市での取り組みの検証も行い、効果的な収納対策を講じることができるとかを研究していきたい。

**答** 校長は、児童生徒が日頃の教職員の指導をどのように受け止めているかを確認するため、毎年、児童生徒や保護者に対してアンケート等を実施し、実態の把握に努めると共に課題の解決を図っている。また、教職員は、楽しく分かりやすい授業の実施をはじめ、個別の支援を継続的に行うなどとして、児童生徒との信頼関係の構築に努めている。

**問** ある「確認シート」の提出を求めている。確かに、利用者が感染防止のため自覚をもつことは大前提だと考えるが、現在の使用基準だと施設利用できない団体が、また、確認シートも利用者の負担となっている。そこで、市の認識を問う。

**答** 現在の使用基準は、市民館の利用者の安全確保を最優先に考えて、感染リスクを極力少なくすることを前提とした基準としている。もっとも、現在の基準は2年7月31日までの使用に係るものと考えており、今後については、国や他市の動向等を踏まえ、必要に応じて見直しを図る。また、確認シートについても、利用者の負担軽減のため、併せて検討を行いたい。

### 介護施設のコロナ感染

**問** 新型コロナウイルス感染症に関して、市内の介護施設において集団感染が発生した。当該施設は、平成28年4月以降、市から公益社団法人へ運営移譲・民営化された施設であるが、感染の現場では、入所者も職員も想像を超える状態に置かれていたと聞いている。そこで、市は、今回の件を教訓として、今後どのように

対応していくつもりか。

**答** 市としては、最前線で働く職員を全力で支援してきたが、結果については大変重く受け止めている。今後、施設内で感染が発生した場合、たとえ軽症であっても高齢者が日々生活を営む施設であるという特性に鑑み、初期の段階から医療機関に搬送し治療が行える体制を整えることにも、全ての入所者と職員へのPCR検査を実施することなど、県及び市川保健所に対して強く要請していきたい。

**問** 特別支援学校の職員が児童に暴言を吐いた問題で裁判になった報告がなされているが、このようなことが発生したことに対し、驚きと同時に怒りを覚えた次第である。児童生徒が学校に行きたくない理由が職員の暴言であったのではないかと、校長は、教職員が日々適切な指導を行っているかについてどのように把握しているのか。また、教職員は、児童生徒とどのように信頼関係

を築いているのか。

**答** 校長は、児童生徒が日頃の教職員の指導をどのように受け止めているかを確認するため、毎年、児童生徒や保護者に対してアンケート等を実施し、実態の把握に努めると共に課題の解決を図っている。また、教職員は、楽しく分かりやすい授業の実施をはじめ、個別の支援を継続的に行うなどとして、児童生徒との信頼関係の構築に努めている。

**問** 本市では、令和2年6月1日より全市民館の運営を再開しているが、利用に際し、感染拡大防止のため「使用基準」の遵守と、年齢等まで記入する必要が

ある「確認シート」の提出を求めている。確かに、利用者が感染防止のため自覚をもつことは大前提だと考えるが、現在の使用基準だと施設利用できない団体が、また、確認シートも利用者の負担となっている。そこで、市の認識を問う。

**答** 現在の使用基準は、市民館の利用者の安全確保を最優先に考えて、感染リスクを極力少なくすることを前提とした基準としている。もっとも、現在の基準は2年7月31日までの使用に係るものと考えており、今後については、国や他市の動向等を踏まえ、必要に応じて見直しを図る。また、確認シートについても、利用者の負担軽減のため、併せて検討を行いたい。

### QRコードから本会議動画をご覧になれます

2~6面のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTube「市川市議会公式チャンネル」にて各会派の代表質問の動画をご覧いただけます。ぜひご覧ください。